

岩通 小形交換用
送 受 器

TML**

取扱説明書



IWATSU 岩崎通信機株式会社

情報通信営業部 〒168 東京都杉並区久我山1-7-41 ☎ (03)5370-5470

TML004531

岩通

小形交換用送受器

JOIL**

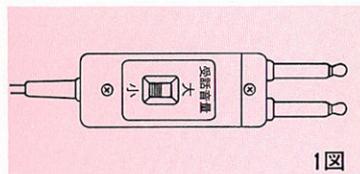
コロールは標準用として600HPよりも小形、軽量化された交換用送受器です。

外観と各部の名称



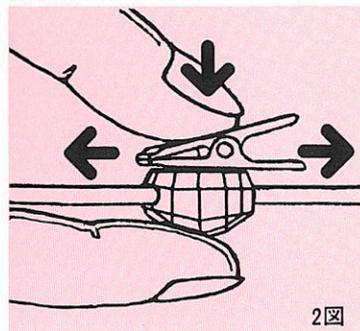
各部のはたらき

- ① 本体ケース……………受話器、送話器が内蔵されております。
- ② 送話パイプ…………… 音声を本体ケース内に内蔵した送話器に伝達する働きをします。
- ③ 送話チップ…………… 音声を集音しやすいよう設けてあります。
- ④ イヤパッド…………… 音の漏洩をなくし、耳への感触をよくするために設けてあります。取り外しができます。
- ⑤ ヘッドバンド…………… 送受器をたい頭するために使用します。
- ⑥ ヘッドパッド…………… ヘッドバンドの頭への当り具合をやわらげます。
- ⑦ コード…………… 本体ケース内の受話器、送話器とプラグとの接続を行います。
- ⑧ コード止め…………… 送受器がコードに引っぱられないよう衣服に止め固定します。
- ⑨ プラグ…………… 送受器を使用する時、交換台などのジャックに差し込みます。プラグケース内には、送話増幅器が組込まれています。
- ⑩ スイッチ…………… 受話音量スイッチは音量を大小に切り換えられます。(1図)



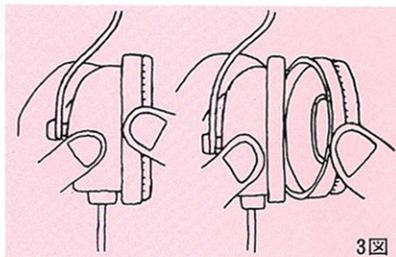
コード止めの使い方

体を動かしたとき、コードに引っぱられたり、コードの重さが気になるときに衣服に留めて下さい。
コード止めの位置を変えるときは(2図)のように強くはさみつけて移動させて下さい。



イヤパッドのはずし方

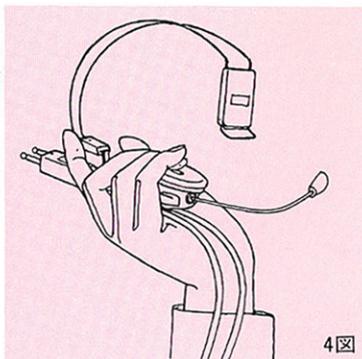
イヤパッドをとりはずしする場合は(3図)の様に持って下さい。



3図

使用上の注意

- (1)プラグの抜き差しには、必ずプラグケースを持ちコードは持たないで下さい。
- (2)持ち運びには本体ケースとプラグコードを同時に持って下さい。(4図)
- (3)送話チップ内にある送話口には、ゴミや水滴などをつけないようにして下さい。
- (4)送話チップは、引き抜かないで下さい。
- (5)送話パイプは回転させないで下さい。
- (6)本品は600形交換用送受器(600-HP)、4号交換用送受器(4HP)との並列使用はできません。ただし半差しによる聴話はできます。
- (7)コロールと600-HPとの互換性はありますが中継台によっては一部接続できない場合があります。その際はメーカーにご相談下さい。
- (8)電源整流器、変圧器、モータ、発電機の近くでは誘導によりノイズが入ることがありますので注意して下さい。
- (9)中継台の交換手呼び出し等にブザーを使用しているところで問題があるときは、ブザー接点に火花消去器(例Q-1、仕-2615号)を接続するとノイズが軽減されます。

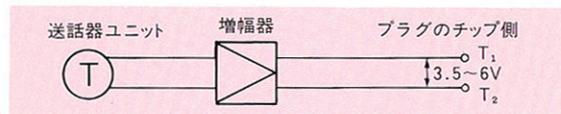


4図

応用使用の範囲

(1)コロールは下記条件以内でお使い下さい。

送話系



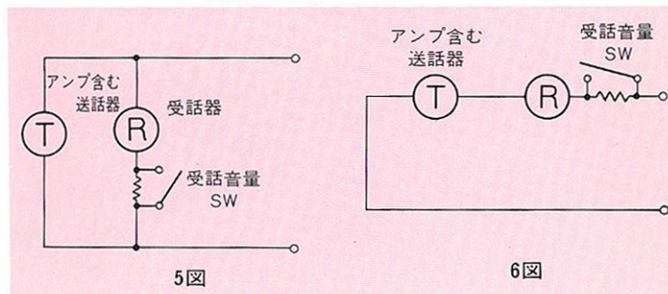
直流供給標準電流 50mA

使用直流供給電流範囲 20~100mA

最大電流 150mA以下

(2)コロール自体での受話器、送話器の平行接続使用はできません。(5図)

(3)コロール自体での受話器、送話器のシリアル接続使用はできません。(6図)



5図

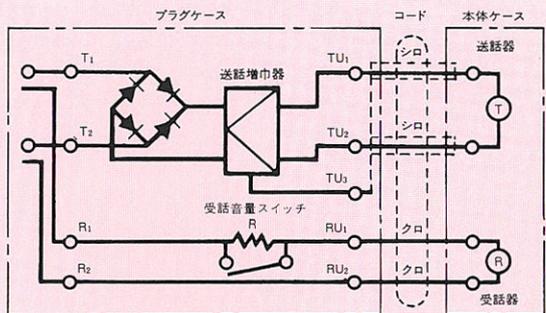
6図

清掃および消毒

コロールを清掃、消毒するときは、適量のアルコールをひたした布を用いて、シンナー、トルエン、アセトン 等は使用しないで下さい。

結線図

プラグに極性は
ありません。



送受器の正しい掛け方

送受器は常に正しく頭に掛けてお使い下さい。こうすることによって理想的な通話性能が得られます。

(8図)は正しくかけた状態です。

1 送受器の着脱

送受器の着脱は、本体ケースとヘッドバンドの末端を持って頭の巾ぐらいまで広げて下さい。

イヤパッドは左右何れかの耳に当てて下さい。

ヘッドバンドの掛け方
ヘッドバンドは、頭の上部ほぼ中央に沿

って掛け、ヘッドパッドをイヤパッドの反対側の耳の上部に当てて下さい。(9図) 本体ケースはヘッドバンドを固定しながら上下左右自由自在に傾けることができますからイヤパッドの耳の当り具合はここで調整して下さい。

3 送話チップの位置の調節

送話チップの位置は、唇の斜め前方にくるよう本体ケースの傾きおよび送話チップの回転により調節して下さい。

送話チップの凹側を口へ向けてお話し下さい。

